

平成18年度

特別会計予算

可決!

土地区画整理事業
 9,523万4千円

西地区(棚原・徳佐田・翁長)の区画整理に着手へ!

一般会計からの繰入金2,272万5千円、西地区区画整理事業分を計上で事業の推進をはかります。上原・棚原地区に於いては、2地権者と2区画地の補償補てん、賠償を予定。

議会からのコメント
 保留地処分の単価見直しについて、上原・棚原土地区画整理評価委員会を開き、国・県との調整のもとに進めるべきであるが、保留地の処分を代替地として積極的に斡旋すべきである。



国民健康保険
 29億8,434万9千円

前年度比7%の増

要因としては、健康保険税の分として加入世帯数の増と国庫支出金6.5%増が主である。

議会からのコメント
 予防事業の充実強化を図るため、保険・福祉・健康衛生各課の連携強化を強く要望した。



公共下水道事業
 6億2,851万2千円

接続の推進で使用料の増を見込む

歳入に於いては、使用料及び手数料3,629万4千円を見込む。歳出に於いては、汚水処理負担金の増、下水道整備事業は5箇所を予定。(小那覇・嘉手苅・兼久・呉屋・翁長地域)

議会からのコメント
 公共下水道の進捗状況は、計画事業面積695haで整備済み面積が164.7haである。率にして23.7%、接続可能世帯2,028世帯のうち483世帯の接続を見込んでいるが、接続啓発の強化を求めた。



介護保険
 13億6,461万7千円

制度改正で保険料がアップ

保険料の第3期改正で、基準額が月額5,200円となり、250円の増となる。

議会からのコメント
 納期限後の徴収可能期間が極めて短いことから、滞納繰越分と現年度分の年度内収納の確保を要請した。



水道事業

消費税は税率の動向に於いては導入を検討を要する!

事業収益8億5,999万5千円(0.19%減)
 事業費用は8億4,420万3千円で、収支差し引き純利益は1,700万円を予定。
 資本的収入は2,900万5千円。
 資本的支出は1億3,572万9千円となり、資本的支出が資本的収入に対して不足するために過年度分損益勘定留保金で補てんする予定。

議会からのコメント
 水道事業については、横ばい状態で、前年度並みの予算になっている。消費税の導入に関しては下水道料金との関連と税率によって変動するため、慎重に検討すべきである。



老人保健
 19億4,847万1千円

本町の老人医療は、1割負担者が多く、高額医療費分について町負担が多額になっている。

議会からのコメント
 高齢化が進む中、疾病予防、老人クラブ、健康フェスタ等の充実を一層図るよう要請した。

